

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
[共催] 同志社大学 神学部・神学研究科

CISMOR 公開シンポジウム

一神教と国際政治

—— 米大統領選挙を中心に

【講師】

渡辺 将人 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授
宮家 邦彦 キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

【ディスカッサント】

伊奈 久喜 日本経済新聞 特別編集委員
小原 克博 同志社大学神学部 教授、CISMOR センター長

【司会】

村田 晃嗣 同志社大学法学部 教授、CISMOR 幹事

2012年7月22日(日) 13:30-15:45

同志社大学 今出川キャンパス
明德館 1階 M1 教室

【 プログラム 】

- | | | |
|----------------|-------------------|------------------------|
| 1) 開会挨拶／講師紹介 | 13 : 30 – 13 : 35 | 村田 晃嗣 |
| 2) 講 演 | 13 : 35 – 14 : 15 | 渡辺 将人
「米大統領選挙と宗教要因」 |
| 3) 講 演 | 14 : 15 – 14 : 55 | 宮家 邦彦
「アメリカの中東政策」 |
| —— 5 分間休憩 —— | | |
| 4) パネルディスカッション | 15 : 00 – 15 : 45 | 伊奈 久喜、小原 克博 |

【 登壇者紹介 】

渡辺 将人 (わたなべ まさひと) 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授

1975年東京生まれ。北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。シカゴ大学大学院国際関係論修士課程修了。米連邦下院議員事務所、連邦上院選本部を経てテレビ東京入社。報道局政治部記者として官邸、外務省など担当。コロンビア大学・ジョージワシントン大学客員研究員を経て現職。専門はアメリカ政治。第5回中曽根康弘賞優秀賞受賞。主な著書に『分裂するアメリカ』『オバマのアメリカ』（幻冬舎新書）、『現代アメリカ選挙の集票過程』（日本評論社）、『評伝バラク・オバマ』（集英社）、『見えないアメリカ』（講談社現代新書）ほか。

宮家 邦彦 (みやけ くにひこ) キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

1953年、神奈川県生まれ。東京大学法学部卒業後、外務省入省。外務大臣秘書官、在米国大使館一等書記官、中近東第二課長、中近東第一課長、日米安全保障条約課長、在中華人民共和国大使館公使、在イラク大使館公使、中近東アフリカ局参事官を歴任。2005年8月退官。安倍内閣で総理大臣公邸連絡調整官。現在、AOI 外交政策研究所代表、キヤノングローバル戦略研究所 研究主任。

伊奈 久喜 (いな ひさよし) 日本経済新聞 特別編集委員

1953年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。日本経済新聞社に入り、政治部、ワシントン支局、米ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題大学院（SAIS）外交政策研究所を経て1994年から論説委員、同副委員長として社説、コラム「春秋」を執筆、2010年から現職。1993年からコラム「風見鶏」を書き続けている。2011年1月から日経電子版に「日米外交60年の瞬間」を長期連載中。担当分野は外交・安全保障政策。1998年度ボーン・上田記念国際記者賞を受賞。青山学院大学、聖心女子大学、同志社大学大学院で教鞭をとる。著書に「戦後日米交渉を担った男 外交官・東郷文彦の生涯」（中央公論新社、2011年）など。

小原 克博 (こはら かつひろ) 同志社大学神学部 教授、CISMORセンター長

1965年、大阪生まれ。マインツ大学、ハイデルベルク大学（ドイツ）に留学。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。現在、同志社大学神学部教授、一神教学際研究センター長。専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組む。著書として『宗教のポリティクス——日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房、2010年）、『原発とキリスト教——私たちはこう考える』（共著、新教出版社、2011年）など多数。

村田 晃嗣 (むらた こうじ) 同志社大学法学部 教授、CISMOR 幹事

1964年、神戸市生まれ。1987年、同志社大学法学部卒業。1995年、神戸大学大学院法学研究科博士課程（国際関係論）修了。その間に米国ジョージ・ワシントン大学留学（1991-95年）。1998年、神戸大学博士（政治学）。現在、同志社大学法学部教授。第二次世界大戦後のアメリカの東アジア政策とその決定過程、日米安全保障関係の歴史と課題などを研究テーマにすえ、アメリカの情報公開法による資料の開示や日米双方の政策担当者へのインタビューを精力的におこなっている。また、単なる歴史研究にとどまらず、安全保障問題の現状分析や政策提言も意図しており、国際会議への出席や総合雑誌・新聞への寄稿なども活発に行っている。

著書としては、『現代アメリカ外交の変容 --レーガン、ブッシュからオバマへ』（有斐閣社、2009年）『レーガン——いかにして「アメリカの偶像」となったか』（中央公論社、2011年）など多数。

MEMO

<次回ご案内>

主催：同志社大学一神教学際研究センター(CISMOR)、共催：同志社大学神学部・神学研究科

公開シンポジウム

「イスラームと西欧近代の問題 —共約不可能性と共存可能性を突き詰める(仮)」

【日時】 2012年9月15日(土) 時間未定

【会場】 同志社大学 寒梅館ハーディーホール

【講師】 中田考(アフガニスタン平和・開発研究センター共同研究員) ほか



<お知らせ>



iPhone や iPad などの iOS に対応したアプリ「同志社大学 CISMOR」を iTunes Store にアップロードしました。CISMOR の出版物 (CISMOR Voice、『一神教学際研究』等)、講演会 (動画)、最新情報を見ることが出来るアプリです。どうぞ、ご活用下さい。